

●オレンジバルプロジェクト（以下OBP）の企画：

- 日本死の臨床研究会 第33回年次大会
- 日時：2009年11月7日（土曜）、8日（日曜）
- 場所：名古屋国際会議場
- 参加者：3232人 医療福祉教育の関係者及び一般市民
- 企画報告：

医療者はもちろん一般参加市民を対象に、日本死の臨床研究会の市民向け講座にて、OBP、厚生労働省委託による緩和ケアの啓蒙普及を目的とした緩和ケア企画を行いました。日本死の臨床研究会年次大会（以下本大会）はいのちに関わる医療・教育・福祉・生活などの様々な分野で患者や家族に対して緩和ケアの啓蒙普及を目的とし、1977年から30年以上にわたって活動しています。本大会のテーマは「いのちを見つめ、心を結ぶ、今すべての人と」としました。11月7-8日の両日に各々行われる市民公開講座（①11/7：日野原先生+辰巳先生、②11/8：樋野先生、3000人収容のメイン会場）およびその他市民ホールラムでOBPをアピールいたしました。

第33回日本死の臨床研究会年次大会
The 33rd Japanese Association for Clinical Research on Death and Dying

市民公開講座

名古屋国際会議場 センチュリーホール
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL:052-683-7711

市民公開講座①

対談「食といのち」

日時 11月7日(土) 18:30~17:30
参加費 1,000円

講師 柏木 哲夫 (金城学院大学学長)
日野原 重明 (聖路加国際病院理事)

対談 辰巳 芳子 (料理研究家)

市民公開講座②

講演「がん哲学外来」

日時 11月8日(日) 13:00~15:00
参加費 1,000円

講師 花井 美紀 (がん哲学外来代表)
樋野 興夫 (順天大学学長)

対談 藤江 博子 (ピアニスト)

17:30~ コンサート
歌手 スーザン オズボーン

その他プログラムの詳細をご希望される方は、総合受付にて第33回日本死の臨床研究会年次大会参加費1,000円をお支払いただきますと、全てのプログラムにて参加いただけます。その場合、市民公開講座への来場への参加費は不要です。

主催 第33回日本死の臨床研究会年次大会
共催 株式会社 オフィステイクワン 〒461-0204 愛知県熱田区熱田西町2-5-6
TEL:052-930-6145 / FAX:052-930-6146 / E-mail: jard33@ca-oto.com / 大塚Webサイト: http://www.ca-oto.com/jard33/

第33回日本死の臨床研究会年次大会

いのちを見つめ。
心を結ぶ。
今すべての人と

2009年11月7日(土)~8日(日)

大会ホームページ <http://www.ca-oto.com/jard33/>
名古屋国際会議場
〒456-0036 名古屋国際会議場国際会議場1階
TEL:052-683-7711 / FAX:052-683-7777

●シンポジウム(1) 11/7(土) 9:15~11:40

「ホスピスへの思い遣い その歴史と現在・未来」
～マナー・エイクンヘッドと岡村組組～
米沢雄、樋野興夫、東本嘉郎、二俣雅章

●シンポジウム(2) 11/8(日) 10:15~11:50

「地域・在宅における緩和ケア」
近藤真知、阿部幸孝、船木良真、塩原麻子

●講演 11/7(土) 9:15~11:40 渡辺哲雄 (日本福祉大学中東部中学校長)
11/7(土) 10:00~10:30 渡辺道成 (名古屋大学学長)
11/7(土) 10:45~10:50 藤田 真 (愛知中央病院名誉院長)
11/8(日) 9:30~9:45 藤田真知 (アソシエイト作家)
11/8(日) 9:50~10:00 近藤真知 (日本福祉大学教授)

●事例検討/一般演題/その他 11/7(土) 13:00~17:00

事例検討/一般演題の会場による複数の場にて、講演/シンポジウム/パネルディスカッション/ワークショップ(11/8)の教育、ケア/ケア、スピリチュアルケア、栄養管理、緩和マナー、音楽療法など、写真展、いのちと希望のアート展、その他多くの学習会、ワークショップを予定しています。

●市民公開講座 11/7(土) 18:30~17:30 対談「食といのち」
日野原重明、辰巳芳子、司会 柏木哲夫
11/8(日) 13:00~15:00 講演「がん哲学外来の話」
樋野興夫 (順天大学学長)

参加費/会場 7000円 (学生3000円)
学生会 3000円 (学生1000円)
大会長/佐藤 健 (国立病院機構がんセンター緩和ケア部長)
安藤 祥子 (名古屋大学医学部保健学看護学専攻 教授)

年次大会事務局：株式会社 オフィステイクワン
〒461-0204 名古屋市熱田区熱田西町2-5-6 TEL: (052) 930-6145 FAX: (052) 930-6146 メールアドレス: jard33@ca-oto.com

1. 市民公開講座① (11/7)

聖路加国際病院理事長の日野原重明先生と著名な料理研究家の辰巳芳子先生をお招きして「食といのち」のテーマで対談して頂きました。司会の金城学院大学学長の柏木哲夫先生の楽しい進行で、食の大切さを伝えて頂くことができました。

最近、食生活の乱れや逆に健康食など「食」と健康に関する話題が多いのですが、食はまさしく生命の仕組みに、呼吸と同じように仕組みられているが、生命のメカニズムとしてだけでなく文化やところに至るまで大きな影響を及ぼすものであります。お言葉を借りれば「人は食すべきように食さねばならぬのであり、人生を受容するにひとしい」ことであり、食やいのちに関わる職種にとって、食といのちの関わりとその大切さを考え伝えていくことは責務であると思われました。

「食といのち」については医学的な側面からも別のシンポジウム（座長：藤田保健衛生大学教授 東口高志先生）でまた取り上げました。また辰巳芳子先生が進めていらっしゃる「いのちのスープ」の試飲販売も好評で、完売されました。こうした食といのちの企画を通して、多くの方にホスピス緩和ケアが、単なる医療にとどまらず、福祉や教育、生活にまで身近に関わっていることを知って頂いたことをうれしく思っております。

2. 市民フォーラム「いのちを考える」：（11/7）

「いのちを考える」をテーマに市民の方々とホスピス緩和ケアに関わる市民団体と医療者が、ホスピス緩和ケアの啓蒙を兼ねてOBP市民向け企画を致しました。講演・パネラーに上智大学名誉教授のアルフォンス・デーケン先生、愛知医科大学看護学部名誉教授の馬場昌子先生、公立学校共済組合東海中央病院院長で前藤田保健衛生大学教授の渡辺正先生に参加頂き、全日でフォーラムを行いました。

① Part 1 「住み慣れた家で」ロールプレイ：皆で一緒に考えよう

「最後をどこでどのように迎えたいか」、「齢を重ねていくことは」など多くの問題提起を行い台本を作成し皆でロールプレイを行いました。

② Part 2 「いのちを考える」：

「死の準備教育とは」「こころのケアにたずさわる人に望ましい基本的な態度」など4つのテーマでA.デーケン先生の講演を頂きました。講演後グループディスカッションの予定でしたが参加者が多く全体討論になり活発で率直な意見が多く出、参加者からも「大きな学びがあった」の声も頂き、素晴らしい会となりました。

市民フォーラムの企画だけでも200名を超える方々の参加があり、互いの情報交換や「生きる」ことの真剣な学びの場になったと思います。

市民公開講座1 対談:食といのち(司会 柏木哲夫)



日野原重明先生



辰巳芳子先生



柏木哲夫先生



市民公開講座2 がん哲学外来 (司会 花井美紀)

第33回日本死の臨床研究会年次大会
The 33rd Japanese Association for Clinical Research on Death and Dying

市民公開講座

会場 名古屋国際会議場 センチュリーホール
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL:052-653-7711

市民公開講座①

対談『食といのち』

日時 11月7日 16:30~17:30
参加費 1,000円

司会 花井 美紀 (NPO法人「ネット・実践ラーニング」代表)

出演 柏木 哲夫 (名城大学学長)

出演 日野原 重明 (聖徳学園病院院長)

出演 辰巳 芳子 (料理研究家)

17:30~ コンサート
歌手 スーザン オズボーン

市民公開講座②

講演『がん哲学外来』

日時 11月8日 13:00~15:00
参加費 1,000円

司会 花井 美紀 (NPO法人「ネット・実践ラーニング」代表)

出演 樋野 興夫 (順天堂大学教授)

出演 藤江 博子 (ピアニスト)

その他プログラムの報酬をご希望される方は、参加費引にて第33回日本死の臨床研究会年次大会参加費3,000円をお支払いいただきます。全てのプログラムにご参加いただくことができます。
その場合、市民公開講座への別途の参加費は不要です。

主催 第33回日本死の臨床研究会年次大会
お問い合わせ 株式会社オフィスデザイン TEL:052-604-1146 / FAX:052-604-1146 / E-mail: jrd33@owdco.com / 大会ウェブサイト: http://www.jrd33.com/jrd33/



樋野興夫先生



市民団体フォーラム「いのちを考える」

